

**製品名: ATOH1 (17T16) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe07313**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATOH1
別名	ATH1; ATOH1; bHLHa14; hATH1; MATH1;
遺伝子 ID	474.0
SwissProt ID	Q92858
免疫原	ヒト MATH1/HATH1 の合成ペプチド

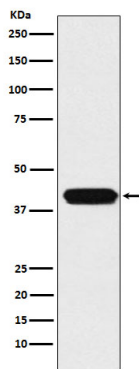
**背景**

TCF3/E47 と共同して E ボックス依存性転写を活性化するが、その活性は神経新生の負の調節因子 HES1 によって完全に拮抗される。E ボックス依存性転写を活性化することにより、神経細胞のサブセットの分化に役割を果たす可能性がある。転写調節因子。TCF3/E47 と共同して E ボックス依存性転写を活性化するが、その活性は神経新生の負の調節因子 HES1 によって完全に拮抗される。E ボックス依存性転写を活性化することにより、神経細胞のサブセットの分化に役割を果たす（類似性による）。

## 研究分野

-

## 画像データ



HepG2 細胞溶解物中の MATH1/HATH1 発現のウェスタン ブロット解析。